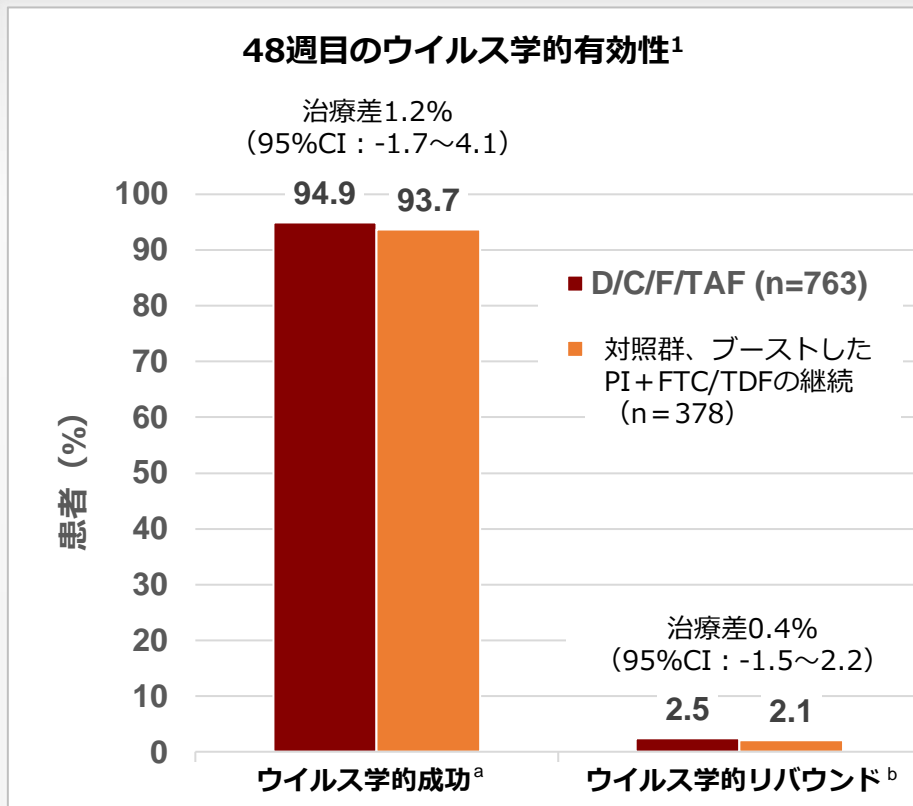


EMERALD試験：ウイルス学的抑制が得られている患者におけるブーストしたPI+ FTC/TDFからDRV/COBI/FTC/TAFへの切り替え^{1,2}



- PIおよびNRTI耐性変異なし
(耐性に関するデータがあるウイルス学的リバウンド：DRV/COBI/FTC/TAF群n=1、対照群n=3)
- 両群におけるgrade 3/4のAE、AEによる中止率は同程度に低い。
- 対照群と比較してDRV/COBI/FTC/TAF群では股関節/脊椎BMDの有意な改善がみられた。
- シスタチンC値から算出したeGFRに群間差はなく (P=0.092)、DRV/COBI/FTC/TAF群において血清中クレアチニンから算出したeGFRは低下 (P=0.034)
- 事後サブ解析では、骨および腎機能パラメータは、性別、年齢、糖尿病またはHTNの既往に関係なく、切り替えにより改善した²。

a. HIV-1 RNA量<50コピー/mL (FDAスナップショット)、

b. 主要評価項目：HIV-1 RNA量≥50コピー/mLの確認、またはHIV-1 RNA量≥50コピー/mL持続による早期d/c